

浜松城と北遠・湖北の城（展覧会）～3ヶ所で同時開催～

■展覧会「絵図で見る浜松城」

期間／10月24日（土）～11月8日（日）
場所／クリエート浜松
入場者数／1,754人

現在の浜松城は、復興天守閣を中心とした一帯が浜松城公園として残されていますが、江戸時代には北はコンコルド浜松の付近から、南は連尺町交差点まで至る広大な範囲が城の領域でした。



現在は都市化が進み、かつて浜松城内であった部分は市街地へと変貌しました。市街地化の過程で城の遺構の多くは失われてしまいましたが、かつての城の姿は江戸時代に描かれた絵図から知ることができます。浜松城を描いた絵図は複数存在しますが、17世紀に描かれた「遠州浜松城絵図」は往時の城の姿を詳細に描いており、貴重な資料です。この絵図をもとに現在の地形図と浜松城の復元図を重ね合わせた図面や、

航空写真も並べて展示し、現在の市街地が浜松城のどの部分に当たるのか紹介しました。また、19世紀に描かれた「遠州浜松松尾山引駒城下絵図」には浜松城を中心に城下町の姿が描かれており、幕末の浜松の様子を知ることができます。



期間中は多くの皆さんにご見学いただき、知られざる浜松城の姿を知っていただくことができました。



◀絵図に描かれた浜松城中心部
「遠州浜松城絵図」に描かれた浜松城本丸と天守曲輪。天守閣はありません。

■展覧会「徳川・武田争奪の城」

期間／10月24日（土）～11月8日（日）
場所／浜松まちづくりセンター
入場者数／1,221人

浜松を含めた遠江一帯は、戦国時代に徳川氏と武田氏との間で激しい覇権争いの舞台となりました。

こうした中で浜松市内には、守りの拠点として数多くの城や砦が築かれ、その数は100余にも及びます。今回の展覧会では、これらの城



の中から代表的な30城を写真や縄張図・鳥瞰図などを用いて紹介しました。

城のパネルは、二俣城周辺(旧天竜市)、犬居城周辺(旧春野町)、高根城周辺(旧水窪・佐久間町)、浜松城周辺、浜名湖沿岸の5つの地域に分けて展示しました。今回紹介した城の大半は、戦国時代に山の頂上などに築かれた山城です。浜松市内にはこうした山城が手付かずのまま残されているところが多くあり、現在でも堀切や土塁など城の施設が良好に観察できます。また、天竜区の高根城は戦国時代の山城の姿を忠実に復元しており、城観察の適地と言えます。



▲会場入口には、浜北区の山田巖さんが製作された「二俣一夜城」の衝立を展示しました。

■浜松城特別展覧会「三方ヶ原合戦と浜松城」

期間／10月24日（土）～11月8日（日）
場所／浜松城天守閣
入場者数／30,657人



▲秋葉山本宮に奉納された武田信玄・山本勘助の刀
H21.10.17付中日新聞朝刊より

浜松モザイクカルチャー世界博及び国民文化祭協賛事業として開催しました。

展示では、武田信玄の遠江侵攻から三方ヶ原合戦にいたる過程を、「遠州味方力原合戦之図」、三方ヶ原合戦の様子を描いた錦絵、武田信玄と徳川家康の争奪の舞台となった西遠江各地の城の写真等で紹介しました。さらに第24回国民文化祭・しずおか2009開催期間には、武田信玄や山本勘助から秋葉山本宮へ奉納された刀（秋葉山本宮秋葉神社蔵）や、家康及び徳川十六将図・落合左平次背旗図（久能山東照宮博物館蔵）が特別出品され、漫画「センゴク」作者である宮下英樹氏の原画展も併せて開催されました。これらの特別展示は大きな関心を呼び、多くの見学者でにぎわいました。



▶「センゴク」原画展

三方ヶ原合戦の様子を描いた著者書き下ろしの大作も展示されました。

戦国ロマンに思いをはせる～二侯一夜城と戦国時代絵巻～

日時／11月1日（日） ※前夜祭10月31日（土）
会場／城山公園（二侯城跡）
観客数／14,300人

二侯城の天守台石垣の上に、天竜ロマンプロジェクトの皆さんにより、素晴らしい天守閣が復元されました。現存最古の天守閣として知られる福井県丸岡城を模したもので、高さ14m余りの大きさです。見学者から、「本物そっくり」「このまま残してほしい」などの声が多く寄せられました。

戦国時代絵巻は、復元された二侯一夜城の前で、10月31日に前夜祭、11月1日にメインのイベントが行われました。戦国時代を彷彿とさせる火縄銃砲術演武、放鷹術実演、甲冑武者行列などとともに、地元天竜区で伝統芸能や武術継承に取り組んでいる団体の演奏や演武、国民文化祭を記念し天竜商工会が募集した歌の発表会、餅投げなどが行われ、終日大変賑わいました。

■ライトアップされたお城が幻想的だった前夜祭



▲遠州大念仏 三方ヶ原合戦で亡くなった徳川・武田両軍の霊を鎮めるために始まったとされます。ライトアップされた二侯城とのコラボがなんとも幻想的でした。



◀竹内社中による箏曲の調べ

シーンとした空気の中に響く琴の音色に来場者は耳を傾けました。



▶龍邑流家元、龍邑俊一郎さんによる日本舞踊

流れるような美しい動きで霊峰富士の姿を表現した「長唄・富士」が舞われました

■鮮やかな戦国時代絵巻が目の前に…当日

▶龍勢組による和太鼓演奏

力強い和太鼓の音で、いよいよイベントの幕開けです



◀天竜居合杖道会による神道夢想流杖道

ピンと張り詰めた緊張感ある演武に、日本の古武術の伝統を感じました

▶天竜剣舞会による駿河隻真流居合道

巻き藁も一刀両断する迫力に圧倒されました。



◀日本放鷹協会による放鷹術実演

徳川家康が好んだ鷹狩りの実演。



頭上すれすれに飛ぶ鷹に、観客からは歓声が。腕に鷹を止まらせた鷹匠は大人気で、休憩中も写真と質問攻めでした。

▶甲冑武者行列

全国の甲冑愛好家による、二侯のまちから二侯城までの武者行列。沿道の多くの人々がカメラを向けました。甲冑は重いんだとか。



▲長篠・設楽原鉄砲隊による火縄銃砲術演武

火縄銃の音が二侯の山間に響き渡り、イベントはクライマックスをむかえました。